

# 清水興津中グループ 園・小中一貫教育基本構想



## 【地域の特性と児童生徒の実態】

### <地域の特性>

- 風光明媚で知られた清見潟が広がり、江戸時代には興津宿として東海道五十三次の17番目の宿場町として発展した。
- 歴史ある興津の地には、先人たちが積み上げてきた地域の力が今でも、しっかりと残っており、地域に対する住民の愛着心・自負心は大変高い土地柄である。
- 興津地区には、西園寺公望が晩年を過ごした別荘を復元した興津坐魚荘等、重要な建築物や歴史を残している地区である。

### <児童生徒の実態>

- 素直で、元気であり、学年が上がるにつれて、進んで挨拶ができる。節度ある言動ができ、落ち着いて学習に取り組むことができる。
- 行事に仲間と協力して取り組むことができ、仲間を大切にしたいやりの心が育っている。
- 地域との連携で、社会性や郷土愛が育まれている。
- ◆ 学習の基礎基本の定着、家庭学習の習慣化を図る必要がある。
- ◆ 自ら判断して主体的に取り組む姿勢を伸ばしていきたい。

興津地区の特性を活用し

児童生徒の良さを伸ばし課題を解決する

小中共通目標の実現を目指して

## 視点1 目標の共有

# 小中一貫教育 教育目標 「心豊かで 高め合う子」 (小中共通)

【目指す子どもの姿】

自分を取り巻くすべての人・もの・ことに感謝し、仲間と協力し、より良いものを創造している姿

義務教育9年間の系統性・連続性「たてのつながり」

## 視点2 連続性・系統性

### 【柱1】

指導観を共有し、一人一人を大切にした教育の推進

- ・各教科等の学習内容の実態把握
- ・小中の系統性を意識した教科等の年間指導計画
- ・総合的な学習の時間（おきつ学）の実施
- ・特別支援教育の充実
- ・保健教育の推進 等

### 【柱2】

子どもが生活しやすく授業に集中できる環境づくり

- ～ユニバーサルデザインの視点を生かして～
- ・基本的な生活習慣（服装・言動・時間）の徹底
- ・校舎内が整理整頓され授業に集中できる環境
- ・考えを伝え合い、学びを深める授業構想
- ・仲間を思いやり、安心して生活できる環境

## 教育の条件整備

### 視点3 協働・交流

(予算の有効活用・小中連携した事務室運営)

### 視点4 地域連携

### 【柱3】

教職員・児童生徒が協働した交流活動の推進

- ・交流授業の実施 ・音楽交流会の実施
- ・児童会・生徒会による挨拶運動 ・幼保園との交流
- ・小・中学校による特別支援学級の交流
- ・教職員による興津地区フィールドワークの実施
- ・地域運動会における交流 ・小中合同防災訓練 等

### 【柱4】

郷土を愛し、貢献する心を育てる地域連携

- ・地域人材の積極的活用（講師派遣、学校応援団等）
- ・「興津型防災学習」での地域との交流活動の実施
- ・地域防災訓練やボランティア活動への積極的参加
- ・地域行事（朝鮮通信使・西園寺公望動読劇）への参加
- ・健全育成大会への児童・生徒の参加 等

## 保護者・地域との連携・協働 「よこのつながり」

### 学力向上部会

- 学びに向かう姿勢
  - ・聴き方・話し方の指導
  - ・朝学習・家庭学習の充実
- 小中交流の推進
  - ・道徳の時間の充実
  - ・読書「興津100選」

### 生活充実部会

- 心豊かに
  - ・気持ちのいい挨拶、時間・きまり
  - ・相手を思いやる心（言葉遣い）
- 子ども理解
  - ・個に応じた指導
  - ・スクールカウンセラー・教育相談員との連携

興津地区小中一貫教育目標の実現に向けて



① 小中一貫教育構想の共有

② 小中で共通・連続した取組検討

③ 小中一貫教育の成果・課題の検証

### 活動推進部会

- 仲間意識の向上
  - ・温かな学級づくり
  - ・児童会・生徒会との交流
- 健康な身体づくり
  - ・自己健康管理能力の育成
  - ・生命を大切に教育の充実

### 地域連携部会

- しずおか学「おきつ学」の充実
  - ・興津の良さ・地理・自然を知る
  - ・地域人材の積極的活用
- 地域との交流
  - ・地域行事への参加

各支援部会との連携・協働

※こども園との円滑な接続

※令和6年度にCSへ移行



興津学区CNとの連携・協働

興津地区小中一貫コミュニティ委員会

※興津地区PTA連絡協議会と兼ねる